

524

548

銀價暴落の對支貿易に及ぼす影響



始



524
548

銀價暴落の對支貿易に及ぼす影響

大阪市役所産業部調査課



銀價暴落の對支貿易に及ぼす影響目次

第一 銀價暴落の支那經濟界に及ぼす影響

- 一、對外貿易に及ぼす影響.....一
- 二、國內産業に及ぼす影響.....一
- 三、金融上に及ぼす影響.....二
- 四、國家財政に及ぼす影響.....二
- 五、一般社會に及ぼす影響.....三
- 六、銀價變動と銅貨との關係.....三
- 第七 本邦對支貿易に及ぼす影響.....三
- 第八 上海市場に及ぼす影響.....四
- 第九 一般貿易に及ぼす影響.....八
- 第十 紡績業に及ぼす影響.....九
- 第十一 重要貿易品に及ぼす影響.....九

- 綿布——生地綿布——加工綿布——雜貨一般——磁瑯鐵器——金物類
- アルミニウム製品——鈕釦——玩具——時計——石鹼——文房具——
- 魔法瓶——印刷インキ——傘骨——ゴム製品——砂糖——洋紙——セ

昨年十月に三十二片臺を上下して居た銀塊相場は本年八月頃より急落して十月中頃よりは二十四片臺を示し目下二十五片臺を往來して居る。かくの如き銀價の暴落は米國、墨西哥、加奈陀等の主要産銀國にとりもさより重大なる問題であるのみならず、殊に支那、印度等の銀貨國には最も甚大なる影響を與へるものであるが、更に我國は大銀貨國たる支那と隣接して極めて密接なる關係を有するが爲め、銀價下落により蒙る影響、就中輸出貿易上の打撃は他の諸外國に比し最も深甚である。本文は最近の銀價暴落が支那經濟界殊に本邦對支貿易に及ぼす影響を概説し、更に支那主要市場に於ける重要輸出入品に就き、銀價の最も安値を示したる十月下旬の市況を記し、以て銀價暴落の對支貿易に及ぼす影響を述べたものである。

大正
15. 12. 4
内交

メント——ペイント——燐寸——工業藥品——晒粉——木材——雜穀
肥料——鶏卵

第四 天津市場に及ぼす影響

- 一、一般貿易に及ぼす影響……………二〇
- 二、船會社に及ぼす影響……………二〇
- 三、紡績業に及ぼす影響……………二三
- 四、重要貿易品に及ぼす影響……………二三
 - 綿糸——綿布——麥粉——砂糖——燐寸——皮革原料——棉花——雜穀類——天津粟——鶏卵——羊毛

第五 漢口市場に及ぼす影響

- 一、一般貿易に及ぼす影響……………二元
- 二、重要貿易品に及ぼす影響……………二元
 - 綿糸——綿布——砂糖——雜貨

第六 哈爾濱市場に及ぼす影響

……………三

銀價暴落の對支貿易に及ぼす影響

第一 銀價暴落の支那經濟界に及ぼす影響

一、對外貿易に及ぼす影響

銀價の下落は金に對する比價の下落、支那通貨の國際價格の低落となり、支那通貨に對する外國品の價格騰貴を意味するを以て、支那の購買力を減少して輸入を減退せしめ、一方外國通貨に對しては支那產品の價格の下落を意味するを以て輸出は却つて増加する。然しながら各國は何れも國內産業保護政策として保護關稅制度を採用し外國品に重稅を課する爲め、輸出増加、販路擴張により巨利を博するは極めて困難にして、これによつて輸入に於ける爲替損を補ふ事も殆ど不可能と云ふべく、銀價下落は支那對外貿易上甚大なる損失を與ふることとなる。

二、國內産業に及ぼす影響

銀價が下落すれば輸出旺盛となつて農產品、畜產品が活氣を呈するのみならず、輸入困難となるを以て粗製品は成るべく自國に於て製造せんとすると共に、外國の對支企業投資が有利となる爲め、勢ひ農工業の發達を促すこととなる。



元來各國の對支企業投資は殆ど金勘定に依るを以て、投資金に對する豫定の利廻には直接の影響なきも、利得銀額に何等の變更なき場合に於ても之を金貨に換算し、原投資金額に對比する時は、銀價の變動によりその利廻率に多大の増減を來すこととなり、原則としては銀價下落の場合に於ては外資の輸入を容易ならしめるのである。然しながら茲に注意すべきは最近の銀價暴落により輸入減退して輸入商中に破産者續出すると共に、金融逼迫し、物價騰貴の爲め一般人民は日常生活上打撃を蒙り、國內の社會經濟は著しく疲弊し、工業は更に發達の跡を見ざることにして、これ即ち各地に相踵いで起る動亂の影響と、産業革命に向はんとする過渡期に於ける特殊現象と見るべきである。

三、金融上に及ぼす影響

銀價下落により外資輸入が容易となれば、支那の金融に餘裕を生じ、金利を下落せしめることとなる。蓋し支那に於ける金融の中心地たる上海に在銀高が増加すれば金融緩慢、金利の下落を來し、之に反して在銀高減少すれば金融逼迫金利の昂騰を見るは幾多の原因あるも、前者は銀價の下落、後者は騰貴を主因とすることは實例の示す所である。

四、國家財政に及ぼす影響

支那は從來外債に依つて財政の窮乏を補ひ、必要の事業を經營し來りたるのみならず、將來に於ける諸般の開發事業も借款に俟つの外なき國情に在るを以て、外資輸入の難易と外債負擔能力の増減とは支那財政に影響する所極めて甚大なるものがある。然るに銀價下落すれば所要銀額に對する起債金額を減少せざるべからざるのみならず、外債元利支拂能力の點より觀るも外債金額に増減なき場合と雖も、元利金支拂に際し辨濟に要する自國貨幣の支拂額を増加しなければならぬ。

ばならない。殊に極めて巨額の外債を擁し、歳出の三分の一をその元利支拂に充てゝ居る支那政府財政の現状にては、銀價下落により甚だしき影響を蒙るであらう。

五、一般社會に及ぼす影響

銀價が金に對してのみならず一般貨物に對し、その價値が下落するに従ひ一般物價は騰貴し、債權者及び定額の收入を得るものに損失を與へ、之に反し債務者及び定額の負擔を負ふものに利益を與へ、銀價の變動に伴ひ一般經濟界は常に甚だしき動搖を來すこととなる。

更に銀價が下落すれば輸出増加、輸入減退により工業を發達せしめ、他方支那人の大部分を占むる農家の經濟生活を比較的安定せしめる。

六、銀價變動と銅貨との關係

銀價下落の支那經濟界に及ぼす影響を説くに當つて、銀價變動に伴ふ銀銅比價變動の經濟界に及ぼす影響も看過することが出来ない。支那四億の人民中銅貨と縁のなきものは殆ど皆無と云ふべく、銅貨は廣く各階級に行き亘り、その流通額は四百五十億枚(約二億元)の巨額に達すと稱せられ、上海、漢口等の大都會に於て人口の大部分を占むる下層階級は勿論、一般に田舎に於ける經濟生活は銅貨を基準とし、その小口賣買の如きは殆ど凡て銅貨に依つて行はれて居る。而して銅貨は所謂銀貨の補助貨幣として流通して居るが、何れも素材價値によつて流通價格を定められ、その比價は國家の強制通用力によるにあらずして、一般慣習に基き日々の相場が左右せられ居る爲め、銀貨を銅貨に、銅貨を銀貨に

換算する時は、共に貨幣なるに拘らず換算される方は一種の商品として取扱はれる。従て銀價下落の場合は銅價に變動なきも銅貨に對する銀貨の購買力を減少し、銅價騰貴と同一の結果を齎すこととなる。今その影響如何を見るに、

(一) 一般人民 一般的に云へば貨幣價值の下落は物價の騰貴となり、貨幣價值の騰貴は物價の下落となるから、銀價變動に伴ふ銅貨價值の變動も亦物價に影響することとなるのみならず、財産、收入の如何に關係する事となる。

(二) 商人 貿易商は銀元、兩にて仕入れ且つ決済をなす爲め直接の影響はないが、田舎の購買力の減退に伴ふ仕入品の賣捌困難となる等間接の影響は決して尠くない。市場、田舎の商人は銀元或は兩を以て仕入れ、小賣には銅貨を以て賣却せなければならぬ爲め、銅貨價值の變動より蒙むる利害得失は甚大である。

(三) 勞働者 更に銅貨價值の變動に直接に大なる影響を蒙むる者は勞働者であらう。只さへ裕福でない彼等が銀價の變動により生活に大打撃を蒙り、自然銀の引上げを要求するに至るは蓋し當然にして、要求容れられずして罷工の頻發せし事は最近特に顯著なる事實である。

第二 本邦對支貿易に及ぼす影響

前記の如く銀價の下落は支那經濟界、就中その對外貿易に著しき影響を及ぼすものなるが、殊に我國は支那と隣接して貿易額最も大なるが爲め、これにより蒙る打撃は他の諸外國に比し最も甚大である。先づ本年一月以降十月迄の我が對支貿易額を觀るに、左の如く昨年同期に比し輸出に於て約參千四百五拾萬圓を減少し、一方輸入に於ては約千貳百五拾萬圓を増加して居る。(單位圓)

月	輸出		輸入	
	本年	昨年	本年	昨年
一	三三、一六、四三三	二六、五八、一八〇	三〇、五〇、七五二	二五、九四、七三三
二	三九、三八、六一八	三三、七三、五三三	三四、〇五、六六六	一六、七八、四五四
三	四六、八〇、九一八	三七、四三、三三三	一九、〇四、七九二	一五、九〇、五五五
四	三九、三〇、九九九	三四、一六、九七二	二二、〇五、五〇九	一五、五七、二七七
五	三七、二六、六五二	三七、九四、九四四	二二、二九、四一六	一七、二六、三三七
六	三三、五六、七五四	三二、〇五、六七一	一八、九四、一六九	一四、四七、五八一
七	三三、九八、三七一	三四、七六、三三三	二一、八四、〇九二	一三、三六、三三二
八	三三、七五、〇〇〇	四六、九四、九六五	一三、〇四、〇〇〇	一四、六四、三三二
九	三三、四一、〇〇〇	五三、一八、六七六	一一、五九、〇〇〇	一六、四九、九二六
十	三三、四六、〇〇〇	五九、八二、一〇六	一四、〇一、〇〇〇	三三、五五、四三三
累計	三三〇、〇四、一三三	三九四、五九、四四一	一八五、五〇、一〇六	一七三、九一、八八〇

【註】 右の中本年八月以降の金額は大藏省主税局關稅課對支那貿易概算額地方別調に據る概算額である。

右表に示すが如く本年の我が對支輸出貿易は年初より極めて順調に發展し來り、上半期に於ける輸出額は昨年同期に比し約貳千八百六拾萬圓の増加を示して居たが、下半期に入つてよりは甚だ不振に陥り、殊に銀價の急落を見たる八、九、十月には特にその傾向顯著にして、この儘に推移すれば本年は昨年より著しき輸出減退を示すべき状態に陥つて居る。尤も茲に注意すべきは、本年の對支輸出不振に就ては、

(一) 支那一般財界の不況——年々繰返さるゝ戦亂動亂災害等の爲め昨年よりも不況の深刻なること。
 (二) 支那政界の不安定——本年七月頃よりの中支の大動亂、
 (三) 滿洲にては奉天票の暴落

等幾多の原因を挙げ得べきも、八月以來銀價が急激に下落するや、對支輸出商談頓に減少し、例年輸出増加すべき九月に入りても何等増加の跡を見ず、却て輸出最盛季たる十月の如き昨年十月に比し殆ど半減せるが如き、その主たる原因が銀價暴落に存するは言ふ迄もない。反之輸入にありては動亂その他に因り出廻困難にも拘らず、相當の増加を示したるは銀價暴落により輸入爲替の有利となりたる結果と見るべきである。

更に今次の銀價暴落による我が對支輸出貿易の打撃は、本邦對支貿易の六、七割を占むる大阪港の對支輸出貿易に於て最も深刻なるものあるべく、試に本年一月以降十月までの對支貿易額を昨年同期と比較するに、左に示すが如く輸出額に於て約參千四百四拾萬圓を激減し、實に本邦對支輸出減少額の全部に相當して居る。(單位圓)

月	輸出		輸入	
	本年	昨年	本年	昨年
一月	二〇、四四、九五四	一七、六一、六六六	三、二七、八九一	六、一〇〇、四四九
二月	三五、七七、八五八	二二、五七、六〇二	三、九七、九三五	三、三六、四七四
三月	二九、六六、三三七	三三、七六、七四三	四、〇五、一九七	三、五三、三三八
四月	二〇、五七、五九九	三三、〇九、六三七	四、六二、八七三	三、三六、二〇五
五月	一九、八九、〇二二	二二、七七、六〇四	五、二七、三五五	四、三三、一九四
六月	一六、四三、一三三	二二、五五、八九七	三、九七、一九六	三、〇四、八九七

尙本年一月以降十月迄の大阪港對支主要品別輸出入額を見るに、左に示すが如く輸出に於ては機械及同部分品、帽子を除いて何れも減少を示し、殊に綿織糸の如きは半分以下に激減し、他方輸入に於ては棉花を含む植物纖維、鳥卵、獸毛を除き何れも著しき増加を示して居る。(單位圓)

品名	輸出		輸入	
	本年一月—十月迄	昨年同期	本年一月—十月迄	昨年同期
綿織物	一四、九四、六五三	一五、〇九、〇〇一	五、〇六、二〇五	二、四二、一〇八
綿織糸	一九、三〇、三九一	三九、八七、八八七	四、〇四、二六	三、〇〇、三三八
精糖及氷砂糖	四、一五、二一八	四、一〇、〇九〇	四、〇七、〇七二	六、五八、七三三
紙類	三、一〇、四四三	三、六四、七五五	三、一八、九八八	二、九四、一一〇
硝子及同製品	二、二七、九一八	二、二九、八六七	二、八四、〇九九	一、三〇、七〇三
鐵銅眞鍮及黃銅	二、〇七、二四八	二、一九、五七〇	一、八五、〇四七	二、一七、九八八
機械及同部分品	一、九〇、五八六	一、八三、四三三	一、六四、三九九	一、五二、一三九
鐵製品	一、八九、三九〇	二、二四、二〇五	一、三〇、〇六六	一、四〇、七七三
菓子及芥子				三、一〇〇、二七六
牛皮其他獸皮				二、九二、八〇六
植物纖維				四、三七、〇三三
肉(生)				四、六五、〇三三
棉子				八、五七、三三三
鳥卵				
屑及故纖維				
豚毛其他獸毛				

洋傘
帽子
繻子
繻子其他絹布及
絹綿布

1,794,350
1,301,841
1,014,199

1,732,510
1,057,001
1,016,999

野蠶糸
漆
油
糖

1,212,575
1,157,001
1,133,318

975,576
340,110
63,836

第三 上海市場に及ぼす影響

一、一般貿易に及ぼす影響

今次の銀價暴落により輸入商品は當然騰貴すべきに拘らず、時局關係にて市況は極度に疲弊沈衰し、輸入商品中には却つて下押せるものも尠ならず、他方爲替契約關係に就て見るも、今次の圓價昂騰が一本調子且つ急激なりし爲め期待外れの向多く、輸入商は何れも多少の痛手を蒙り、契約品の積止め、値引、破約等好ましからざる現象さへ續出するに至つた。他方輸出品も銀價暴落により當然有利なる地位に置かれたるに拘らず、これ亦時局關係其他種々の原因により産地高、日本内地安にて相場出合はず餘り活躍を見ることが出来ない。然しながら奥地は随分品枯れの模様なれば、今後動亂さへ平定せば相當の荷動きあるべく、更に銀價に一の安定點を見出すに至らば輸入品價はそれを標準として決定せらるべく、時局も漸次安定に向ひつゝある折柄、滞貨の各地へ流出するも今後久しからざることであらう。

二、紡績業に及ぼす影響

上海の代表的工業は紡績業であるが、(一)大多數の邦人紡績の如く内地に本店を有し、本邦内地に於て原棉其他原料品の買付を爲す工場、並に(二)當地に於て之等原料品の買付を爲す工場にありては、何れも今次銀價暴落の結果、

- 一、銀價暴落の爲め物價騰貴を來したる爲め、職工勞銀の如きも増給を餘儀なくせられたものあること、
 - 二、銀相場激變の結果商取引危険となりて沈滞し、荷捌け不良に陥り先物契約の如き殆んど杜絶すること、
 - 三、金融業者を初め商人間に危険なるもの續出し、益々直接間接の損害を増加しつゝあること、
- 等の影響を蒙つて居る。更に後者の工場に於ては受渡共銀貨幣にて爲さるゝを以て、其間金銀比價の變動とは直接何等の關係無きも、前者工場に於ては

- 一、金價暴騰の爲め銀價を以て支拂ふ當地原棉の仕入値段割高となり、從て生産原價を暴騰せしめたこと、
 - 二、賣上代金の貨幣價値が内地轉送に際して激減せること、
- 等尠からざる打撃を蒙つて居る。尙茲に注意すべきは銀價暴落に依り印度の如き銀貨國に對する輸出入如何と云ふ點にして、理論上兩國間には何等の影響無き譯であるが、現在印度に於ても銀價暴落に當地以上の不況を來し、當地生産品の相場も亦不出合の模様である。

三、重要貿易品に及ぼす影響

綿布 生地綿布並に加工綿布共何れも銀價、米棉、三品の暴落及び時局紛糾の影響を受けて商内不振である。

生地綿布(簡單なる加工綿布を含む) 支那製品は銀價暴落にて割安となつた爲め勢ひ外國製輸入品を驅逐し、更に進んで海外殊に南洋、印度市場に進出し、從來本邦品の獲得し來つた販路を蠶蝕するに至つた結果、本邦品は大いに打撃を蒙り、支那向を初め南洋及び印度向輸出は極度の不振に陥つて居る。

加工綿布 需要期なると在荷薄にて荷動き相當あるも、時局の影響を受けて人氣面白からざる爲め、銀爲替安に拘らず相場保合。次に銀價暴落の直接影響と見るべきは、之が爲め支那製綿布を頗る有利ならしめ同種輸入品に徹底的壓迫を加へたと、當地綿布業者中爲替損に因り危険に瀕せるもの續出せる事にして、既に破綻せるもの大小十數軒ある由。尙本邦品が英國品に比し荷動き旺盛なるは、排英運動尙終熄せざると本邦内地相場安に因るものである。

雜貨一般 銀價暴落の結果當地雜貨輸入貿易は極度の混亂状態に陥つて居るが、殊に支那奥地向雜貨類の如きは時期恰も秋季大需要期にありて、例年ならば出張員の得意先廻りに繁忙を呈する時期丈けに其影響甚大なるものがあり、加ふるに北伐動亂勃發以來今日に至るも尙熄まず、長江一帶の購買力著しく減退の折柄、更に最近江浙問題の勃發するありて、今や之等雜貨類の販路は殆んど各地方共賣行杜絶の状態である。従て一般商品相場も何等の値張りを見せず、依然として夏枯期の安値を維持しつゝある折柄、今次の爲替暴騰に遭遇して殆んど施す術もなき状態にして、殊に現品手持筋の如きは爲替高に動もすれば賣惜しみに出づる爲め益々苦境に陥り、今や其切抜策に汲々たる現狀である。尤も魔法瓶、時計、目出し帽子等の如き在荷拂底に幾分値上げされたものもあるも、之とて七十五、六兩の有利なる爲替を以てしてさへ尙利益採算の餘地無く、實に昨今の雜貨市場は全く内外共取引皆無と云ふも敢て憚りなからう。

之を要するに今日の雜貨界は支那内亂と爲替高の板挟みにある状態にて、當業者はこの難境打開には餘程の苦心を要する譯であるが、長江動亂も最近兩軍疲弊して遅々として拂らず、長江上流航路恢復と荷動き漸増より見て動亂も有耶

無耶ながら終結の曙光を見るに至り、一方江浙問題も大問題とするに足らざるを以て、爲替さへ安定すれば好況は望まれずとも時節柄相當實行ある見込である。即ち最近購買力減退の根本的原因是爲替關係に存在するを以て、今後の爲替推移如何に就ては當業者間に頗る注目せられつゝあるが、一般の觀察に依れば爲替は八十兩臺にて落着き、一時に買氣殺到すべしと觀られて居る。但し現品手持筋の如きは將來綿糸、棉花安に伴つて内地の一般物價下落なきかを恐れ、専ら成行相場にても處分を厭はざる向が相當ある模様である。

磁器鐵器 中支動亂の影響に加へて爲替激變に各商何れも氣迷ひて買控ふる向多く、一段と買注文減少せし結果、近來の爲替暴騰に拘らず相場は何等の強氣も無く、十月以來の相場に比し僅かに一兩内外の値上を見たるに過ぎず、三十吋無地十七兩五匁、三十四吋段付無地二十四兩と云ふ安値である。然るに目下本邦内地相場は三十吋物貳拾貳圓唱へにして、假りに七十六兩の爲替を以て採算するも十六兩七匁強に相當し、之に税金、荷造費及び運賃等を加算すれば到底引合の餘地無かるべく、前途如何は一に爲替及び時局次第に依るものと觀らる。

金物類 外商方面は一般に需要期に入りたると、相當在荷ある爲め活況を呈せるも、邦商筋は爲替高と爲替不安定に依り甚しく仕入難に陥り、僅少なる手持品の處分のみ行ひつゝあり、目下需要期を控へて全く拱手傍觀の態を示して居る。尙仕入價格は今夏以來幾分下落して引合出來得べく見えたが、九、十月に亘り圓爲替の狂奔的騰貴に引合困難となり、就中眞鍮は甚だ閑散にして、銅棒、眞鍮棒等も全然英米品に壓倒せられて居る。尙瓦斯管の需要は旺盛にして引合も相當あるが、新規仕入は前述の爲替高にて全然不可能である。然しながら一般に市場の消化力は充分認めらるゝを以て、目下の處爲替さへ安定すれば活氣を呈するであらう。

銅	薄板	百封度	四七・〇〇
"	"	一擔	三五・〇〇
銅	管	一封度	〇・五五

アルミニウム製品

最需期なるに拘らず販路一帯は戦亂の爲め需要起らず、一方支那問屋筋に於ても奥地向商内は同地小賣商人よりの資金回収見込なき爲め頗る不振を呈し、僅かに上海及び其近傍に多少の賣行あるに過ぎない。加ふるに本邦品は爲替高の爲め二重の痛手を蒙りて新規商内殆んど無く、鍋其他生活必需品の如き高値にても需要あるものは支那製品に獨占せられて取引頗る不振を極め、今後此傾向が繼續するに於ては本年取扱高は昨年同期に比し半減すべしと觀られて居る。尙現在荷動きあるは全部舊約品なれば之が一掃後は少量ながらも多少の商談を見るであらう。

鈕釦 爲替高に拘らず目下相場は時局の爲め兎角伸縮み、加ふるに最近無暗に安値賣放す向多き結果依然として安相場より脱せず、益々不引合に陥りて昨今殆んど取引皆無の状態である。但し貝釦のみは本邦内地高に追隨して多少上伸を見せ、目下左の如き相場を示して居る。

染色裏穴貝釦	五分八厘	一マス	二〇兩	五分四厘	一マス	一九兩
"	五分	"	一八	四分六厘	"	一六
"	四分二厘	"	一四	"	"	"

玩具

仲秋節より繁忙期に入りたるに拘らず動亂の爲め奥地向荷動き杜絶し、上海市場及び杭蘇方面までを限度として相當荷動きがある。然しながら需要あるは殆ど廉價なる低級品に限られ、現在の如く八五兩臺の爲替にては相當引合困難なるべきに、八月以來約三割の値上げを行ひたるに依然相當の手合がある。蓋し元來廉價品なる爲め少々の値上げも大なる影響なきに因るものであらう。永安、先施兩公司等の高級玩具に至つては全然商内無き模様である。尙賣行良

好なるは依然セルロイド人形類、玩具の懐中電燈、ブリキ製電車、自動車類、ブリキ製エバーシャープペンシル等にして、嗜好の傾向には全然變化を認めず、只だ格安にして新奇なるものは相當商談がある。

セルロイド物	一打に付	〇・八五元見當
ブリキ製電車類	"	〇・七八
ブリキ製ペンシル	"	〇・四八

時計

爲替高に追隨して相場各品共一律に四兩方値上せられたが、賣行弗々である。

雙龍	四二兩	雙獅子	四一兩
花紋小長	四〇	兵彈小長	四〇
十角並置	三九		

石鹼

戦亂に依り重要販路杜絶したると爲替高にて本邦品の入荷殆ど皆無、相場依然中流品一打一兩、上等品一・八兩と同事であるが、近日一割乃至二割の値上行はるゝ由。尙之に依り支那に工場を有する石鹼業者は當然有利なる立場に置かるべきも、奥地賣行不良なると原料の大部分が外國の供給を仰がざるべからざる關係上、原料高に禍され、只だ小口賣買に對して有利の地位を占めつゝあるに過ぎない。

原料相場	椰子油	二一・八兩	牛脂	一七兩
	苛性曹達	七・二		

文房具

鉛筆は四川の動亂以來賣行不振にて相場不變、安物二等品〇・八〇元、普通品一・二〇元を底値として伸びず目下の相場にては二割増にても尙採算困難の状態にして、引合全然皆無である。

魔法糖

爲替高の爲め市中唱値九・二五兩見當なるも、實際は一〇兩にても賣行がある。

印刷インキ

當地に於ける印刷インキの消化力は益々増大の傾向あり。米國品、獨逸品、支那品、本邦品各其特色を發揮して販路の爭奪戦を演じつゝあつたが、偶々今次の銀價暴落に遭ひ、其形勢にも稍々變化を來し、就中本邦品は最も苦境に陥つて居る。米商利達洋行は最近牌子の賣擴めに名を藉りて、赤、ヘース赤一封度二・三〇元、黄の最廉なるもの〇・七五元にて賣出しつゝあり、且つ取引條件も華商に對し甚だ有利なる爲め、依然人氣を獨占して居る。此外カリフォルニヤの黒インキ、獨商モローラーの活版赤(最低〇・七〇元)、華商中原紹記の下級品新聞黒(〇・一四元見當)がある。而して英、米、獨商方面は在荷豊富なる上、既輸入品を擁し相當餘裕あるも、本邦品は日本内地に於ける輸入原價の値下に伴ひ、製造原價幾分低下し輸出に便なりと雖も、尙奔騰せる爲替の損失を補ふ能はず、目下引合見合せ、新規手合中止の状態にして、單に既契約品の引渡し及び在荷の處分をなしつゝあるのみである。斯の如く今や「支那品に比し品質優良、外國品に比し價格低廉」なる本邦品の特質も全く脅かされつゝあるは、新聞黒の需要益々旺盛なる折柄誠に遺憾に堪へない。今本邦品の相場を示せば左の如くである。

ホスター黄	一封度	〇・四四元
新聞黒	"	〇・二〇
石版赤	"	〇・八五

【註】從來相場に比し約二割五分の騰貴。

傘骨

閑散期なるも爲替關係と在荷拂底の爲め相場〇・二元昂騰し、二二〇吋櫻骨一・四〇元見當である。

ゴム製品

ラツパーヒールは夏枯期經過と共に益々需要期に入り引合相當ある模様なるも、最近の爲替にては商談纏らず、單に手持品を一割乃至一割五分高にて賣捌きつゝあるに過ぎず、而も在荷品を賣盡す時は此以上の新規商談不能と觀られて居る。尙赤ゴム水道ホース及び三輪車用白ゴム等は相當需要がある。

砂糖

元來支那には砂糖の製産殆ど無く、當地市場も全く輸入糖の取引に限られ、從てその市況は全然海外材料に依り左右されて居るが、今回の爲替高は却て一般の買氣を煽りたるものゝ如く、最近公會相場は二年來の新高値に躍進した。かく新高値を現出したるは海外材料により市況強氣なる際、玖瑪產糖地方に大颶風あり減收約二割五分との入電に、市場人氣先高期待濃厚にて一般に安値賣溢りに出でたるに因るものにして、邦糖輸入高増加、長江筋及び杭州向杜絶による在荷激増も大勢には影響せず依然高値を唱へて居るが、商内は極めて旺盛である。

十八日 爲替高にて氣配駭り乍ら現物商談難にて仲惱み。

十九日 爲替に伴れ相場のみ高唱へ、商内無し。

二十日 爲替高續きに駭り乍ら商内依然不振。

二十一日 爲替安乍ら香港の値上と大阪高に好感にて煎昂け。

二十二日 銀塊の値頃安と内地高依然として動かざる好材料を得て奔騰し、左の如く十八日來最初の手合成立した。

臺灣製糖T.K.	十月限	シフ 八・六兩	三、〇〇〇俵
"	"	" 一〇・二圓	二、〇〇〇

二十三日 依然買氣旺盛、相場保合。

爪哇赤双掛	直積	〃	七・〇兩	五、〇〇〇
明 治Y.T.	直積		一〇・四〇圓	六、五〇〇俵
〃		十一月、十二月物	一〇・三〇	二〇、〇〇〇
明 華Y.T.		十二月、一月物	一〇・七〇(税込)	二〇、〇〇〇
爪哇赤双掛		十一月物	七・二兩	五、〇〇〇

洋紙 一般に爲替に追隨して相場暴騰したる爲め小口常用買ある外殆んど商内皆無にして、有光は之に加へて品薄なる爲め目下一連に付一兩七匁と九月相場に比し二匁五分方の急騰を示したが、尙此値段にても目下の爲替にては採算難とされ、三十七封度物更紙は在荷過剩の爲め目下一連に付二兩六匁五分乃至七匁と變動なきも、勿論現在の爲替にては採算取れざる爲め、各商何れも相場昂騰する迄は賣止的態度を持しつゝあり、本邦特殊品たる二二白連史は一連に付三兩七匁以上に採算せざれば引合はざるも相場は其處迄騰らず、二六毛邊紙も目下の一連に付三兩四匁にては到底引合はず、相場昂騰待ちの姿である。

印刷紙	一封度	〇・一三〇兩	兩面アート紙	一連	一五・五〇兩
模造紙	〃	〇・一三五	畫用紙	一封度	〇・一四
クラフト紙(五十封度物)	〃	〇・一〇〇	クラフト紙(其他)	〃	〇・〇九

セメント 當地セメント市場を左右するものは支那セメントにして、一ヶ年需要高百萬樽中外國品(本邦及び海防品)は僅かに三十萬樽を占むるに過ぎない。然るに今次の銀價暴落に依り最も甚大なる打撃を蒙むるは本邦品にして、支那

セメント工場中日本炭を燃料に使用するものも多少爲替變動の影響を免れないがこれは極めて微々たるものである。即ち昨秋より今夏にかけて支那セメントが出廻り澁滞し當地セメント在荷減少したる爲め、本邦品が大いに歓迎せられたが、支那セメント出廻回復と共に本邦品に對抗する爲め在荷を豊富にし且つ相場を引下げたる爲め、之に伴ひ本邦品の相場も引下げらるゝに至り目下三兩唱へである。かゝる安値にては爲替八〇兩にて既に採算なきに拘らず、現在の如く爲替が八五兩、八七兩と昂騰してはもとより引合困難にして、新規商談全然見送状態である。若し相場昂騰して四兩見當とならば現在の爲替にても採算の餘地はあるが、時期既に閑散季に入りたることよてその實現は困難であらう。尙十一月の工部局セメント入札に於ては本邦品は目下の相場にては落札し得ざるべく、爲替が舊に復するか、上海の市價が昂騰せざる限り本邦品の輸入は甚だ困難であらう。

ペイント ペイントの需要期は五月より十一月にして、目下最終の需要期を控へて奥地動亂に依る賣行杜絶、爲替暴騰、支那製品の發展等に外國品は何れも痛手を蒙り、僅かにストックの賣繋ぎに出づるより策なく市場在荷亦僅少である。相場は今春に比し支那品一割五分乃至二割、本邦品二割五分乃至三割、外國品三割以上昂騰せるも、爲替相場との距離大なる爲め次期仕入商談も不振を免れ得ざるべく、支那製品も原料を本邦より仰ぐ關係上今後一段の値上を見るであらう。本邦製ボイルド油は外國品に比し一割安なるも、支那品より二割高なる爲め支那品の賣行最も良好である。因に當地に輸入せらるゝ本邦品油漆類としては日本ペイント、東亞ペイント、滿洲ペイント、關西ペイント等にして、日本ペイントは品質優良なる點に於て知られ、其A印は英國品ハバック代用品として使用せられ、下級品ハナ印は支那下級品に比し價格、品質共好條件に適する爲め頗る氣受良く、滿洲ペイントは最近當地に出張所を設けて目下牌子宣傳に努めて居る。

糖 寸 本年六月江蘇省に於ける塩酸加里、硝石及び硫黄の硝礦局專賣制度が實施せられ、塩酸加里に對しては一擔に付十五弗の税金を徴收したる爲め、糖寸會社は原料購入に從來の約倍額を要し、他方優良低廉なる外國品の競争に値上も不可能となりたる爲め、營業上重大なる障害を受けることとなり、爾來總商會の援助に依り極力其の取消運動を試みた結果、漸く十月初全然專賣制度の廢止と云ふこととなりて該問題も解決された。從て糖寸會社の其後の活躍こそ大いに期待せらるゝに至つたが、最近天井知らずの爲替暴騰振りに各材料著しく騰貴し、塩酸加里の如き一時一樽（百十二封度入）に付九兩見當のものが、最近爲替關係にて十四兩乃至十五兩見當（十月二十五日相場税込十五兩五匁）と奔騰したる外、赤糖、バラヒン、軸木等一齊に約三割方の値上を見た。然るに一方製品は去る十月七日各品に付一兩宛値上を行ひたるのみにて、工場採算愈々不利となり、之が爲め當業者中には値上を希望する者あるも、未だ安値のストックを有する工場ありて之が協調を見るに至らない。但し今夏以來生産手控へ勝なりし爲め品薄なると、時期需要の最盛期なる爲め何れは値上を見るべきも、ストック手薄の工場に在りては現在の市況に大打撃を蒙つて居る。

工業藥品 銀價暴落の爲め最近本邦品及び歐米品共市價約二割五分方騰貴したる結果、一般實需筋は買見送りつゝありて取引頗る閑散を呈し、僅かに時節柄必需品の常用買ありて小口取引が弗々行はれ居る模様であるが、之等取引價格も爲替變動に伴つて日々異なり目下確然たる市中相場無き状態である。尙大勢は一般の爲替前途觀より益々強氣配の傾向を示して居る。

麵 粉 例年九月より秋季需要期に入り相場は爲替の如何に拘らず騰貴するものであるが、本年は今春入荷過剩と相場低落の影響を受けて、取扱商が舊約定品の一掃に努力して相場の釣上を試みるも効果なく、加ふるに奥地需要薄に市況一時一服の状態である。但し最近稍々當地手持の減少及び内地相場昂騰に追隨して多少の上押しを示した。

太陽印	二箱	五・九兩	鹿角	印	二箱	五・五兩
檜角	六三兩	檜角	六五兩	佛角	六七・六八兩（品薄）	
赤柳安	七三	白柳安	六六	桂角	六三・六四	
オレゴン松	四九・五〇					

雜穀肥料 本邦内地實需筋が爲替の落着を待つて買控へ、先物契約等の如き全然見送りて取引閑散を來し、偶々引合あるも小口常用買に過ぎざる折柄とて、今次銀價暴落の影響としては相場の變動位にして、各品共爲替の狂奔に伴ひ著しく昂騰し、殊に麩は最需期に在る關係上四、五年來見ざる暴騰を示したが、之とて單に爲替關係に依るものでなく、戦亂の結果出廻困難に續いて工場製産の不足及び仲間思惑買の旺盛なること等が寧ろ主なる原因を爲して居る。目下當地相場は常に本邦内地買値より高走りつゝある爲め引合殆んど皆無。

穀	(十月初相場)	二・三兩	(十月廿一日相場)	二・九兩
棉實粕	"	二・七	"	三・三
種粕	"	二・三	"	二・五
菜種	"	五・一	"	六・〇

鶏 卵 邦商の活動期に入り不眠不休の状態にて買付、荷造、積出に從事しつゝあるが、武漢の動亂を初め、最近の江浙問題に依り昨年同期に比し幾分出廻減少せるも、尙依然として約一萬四千五百箱の積出あり、買付原價は銀價暴落の

爲め稍々騰貴し、昨年に比し一元に付七、八個方高値を示して居るが、横濱渡相場は昨年に比し約貳拾錢方安値を唱へ居る爲、此機を逸せず頻りに積出を急いで居る。

横濱渡	二八〇個入	一〇・五〇圓	大阪渡	二八〇個入	一〇・四〇圓
	三六〇〃	九・二〇		三六〇〃	九・一〇

第四 天津市場に及ぼす影響

一、一般貿易に及ぼす影響

輸入貿易 爲替七十兩を突破して以來輸入は全然見込無く、支那人方面に於ては爲替激變を極度に危険視して注文を手控ふる状態にして、相當實需筋の買氣潜在せるに拘らず相場出合はず、砂糖、麥粉等生活必需品さへも爲替急騰に取引殆んど皆無である。而して一般の景氣良好ならんには或程度の爲替危険は度外視して注文を發すべきも、銀の大暴落に加ふるに奥地の運輸交通不圓滑、時局尙不安、殊に最近突如として馮玉祥氏包頭鎮に現はれて國民黨と聯合する旨の聲明に、何時再び北支一帯が混亂状態に陥るやも知れざる等の懸念ありて、輸入貿易は殆んど絶望の外無く、從て今後運輸の回復、時局安定の兆候を見るに至らば、假令爲替不利と雖も奥地一帯品枯れの折柄輸入貿易は相當振興すべく、要は爲替の安定、運輸の回復如何に依るものと觀られて居る。

輸出貿易

爲替有利の爲め内地との引合容易なる筈なるべきに、鐵道運賃値上に加へて貨車配給に不當のコミツシ

ヨンを徴收せらるゝ結果、河筋以外の出廻品は爲替の割に内地との引合困難なる模様である。但し八十兩前後の爲替永續すれば假令高率の運賃を支拂ふも尙弗々引合を見るべく、銀價暴落が輸出品をして最も有利に導きたるは、比較的爲替の騰落に敏感ならざる麥稈眞田、藥材、栗等の雜貨類である。

二、船會社に及ぼす影響

爲替關係は運賃を弗建とする支那沿岸航路會社を除き、建値に金及弗の關係を考慮せざるべからざる其他船會社に鈔からざる手數を伴ふものにして、昨年末朝鮮銀行が兌換停止以來船會社は着地拂に於ては入港當時の換算率に依り運賃を計算し居たるも、爲替の騰落極まりなきより換算の煩雜及び危険を避くる爲め運賃を弗建に變更した。然るに昨年十一月頃迄は金壹圓に對し銀八十仙見當なりしが、昨今の銀價暴落に彼此顛倒するに至つた結果、船會社は從來の運賃にては採算出來ざるを理由として二割方引上げ、既に十一月一日より實施せられて居る。今其主要なるものに付新舊運賃を比較すれば左の如くである。

品名	單位	阪神向		横濱向	
		新	舊	新	舊
豆類及び雜穀	百斤	〇・五五元	〇・五〇元	〇・五五元	〇・五〇元
穀	〃	〇・四五	〇・四五	〇・五〇	〇・五〇
栗	〃	〇・九〇	〇・七五	一・〇〇	〇・八五
石炭	一噸	六・五〇	五・五〇	七・〇〇	六・〇〇
棉花(半壓十六才以下)	一俵	二・五〇	二・一五	二・六〇	二・六〇

藥材	百斤(舊)	八〇〇	〇・七〇	一〇〇〇	〇・八五
卵	四十才(新)	〇・六〇	〇・五〇	〇・四〇	〇・六〇
牛馬皮	一箱	二・〇〇	九〇〇	一三〇〇	一〇〇〇
麻	四十才	二・六〇	二・〇〇	三・〇〇	二・四〇
棉實	百斤	〇・四五	〇・四五	〇・四〇	〇・五〇
種物類	"	〇・五五	〇・五〇	〇・五五	〇・五〇
羊毛	"	二・六〇	二・二〇	三・〇〇	二・七〇

而して今後銀價尙一段下落せば、或は以前の金建に相當する程度に運賃の値上を斷行するの止むなきに至るやも許り難い。

翻て船會社の輸入貨物の増減を観るに、例年此頃は結氷期を控へ冬物仕入期として積荷多く、船會社は臨時船を廻航して相當の荷物を吸収するを常とせるが、本年は臨時船の廻航なく、例年以上に積荷多かるべきに拘らず、六、七萬積見當なるは明かに輸入貿易の不振を裏書するものである。

三、紡績業に及ぼす影響

銀價暴落して西河棉の輸出引合容易となり、當地は高値を維持する爲め紡績棉も自然之に引摺られて原棉高となつたが、それに比して綿糸昂騰せざる爲め、頗る不利の立場にある。然しながらその反面に内地品との競争容易となり、時節柄奥地よりの買氣旺盛にストツク品は弗々賣捌け、十月十一日より二十四日に亘り約七千俵の手合を見た。

四、重要貿易品に及ぼす影響

綿糸 銀價暴落は本邦輸出貿易上に甚大なる影響を與へたが、當地綿糸布界のみより考察すれば寧ろさしたる影響も認められない。即ち綿糸は(一)從來最も多量に輸入せられた一六手、二〇手等が近來全然輸入皆無となつたこと、(昨年上海罷業事件當時輸入せられたることあるも之は特殊の場合である)、(二)三二手及び特殊品たる二〇手三子、三二手三子等が近來殆んど輸入されざるに至つたこと等、局限せられた數量のみ輸入せらるゝこととして之に對する影響は僅少である。目下多少共需要あるは四二手二子のみであるが、本品は現在上海邦人紡績の一部にて少量製造されつゝあるに過ぎず、且つ品質を本位とせらるゝ爲め、假令少々高價にても支那に需要ある分のみは本邦糸を買はざるべからざるものにして、現に本年四月單に現物拂底の爲め三百兩以上にて取引せられた事もあり、從て目下の本邦時價參百圓を以てすれば、假令爲替九十五兩迄昂騰するも尙出合ひ得る譯である。之を逆に云へば目下の爲替八十兩を以てすれば四二手二子鶴鹿參百五拾五圓迄は出合ひ得るのである。(時價より五拾五兩は騰る餘地がある譯である)勿論高値になれば多少需要減退せんも大した影響は無であらう。

綿布 綿糸に比すれば相當影響を受けたるものゝ如く、粗布、粗綾の如き太布は最近殆んど輸入杜絶したるも、尙細綾、細布は主として本邦品にして、殊に最近上海及び青島邦人紡績製品の輸入増加を示して居る。而して仲秋節明け當時、鐘紡が世樂鳥を割安に賣出した處、時恰も仲秋後の需要期なると京綾線方面の戰事一段落後とて買氣増加し、加ふるに思惑買ありて、二、三千俵の賣行あり、當時市中相場六兩七匁五分見當なるに拘らず、本邦内地相場の低落に伴れ六兩五匁より四匁乃至二匁五分迄にて手合行はれた(最も多く手合を見たは三匁乃至四匁迄の物である)。其後本邦

相場引續き軟弱なるも爲替暴騰の爲め七兩近く昂騰したが、支那側は爲替の昂騰急激なりしと相當多量の安値手持品有る爲め一向爲替高に追隨せず、從て目下の爲替上よりすればシフ相場に比し頗る割安となる結果、本邦との新規商内行はれざるのみならず、寧ろ反對に買戻しを爲す現象を呈した。細布は目先暫らく爲替高の爲め商内不振ならんも、支那側の手持を大部分消費し盡すと共に一方爲替高に慣るゝに従ひ、例年七兩二匁乃至五匁にて賣行あるものなれば相當取引あるものと觀らる。尙細布以外の綿布並に加工綿布は未だ何等需要起きざるも、綿糸布中需要最も早きは綿糸にして、生地綿布、加工綿布、其他特殊品の順序であり、昨年來の永き不況より仲秋節以來好況に轉じて最近漸く細布の需要を見るに至つたものにして、實需期に入らば加工綿布其他特殊品と雖も相當商内あるべく、爲替高の爲め多少の影響はあるも、加工品は優良なる技術を要する爲め支那にて必要な丈は是非需要あるのみならず、價格に於ても尙相當の餘地ありと考へらる。

之を要するに七、八年前の如く本邦綿糸布が當地市場を支配せる折には其影響相當甚大なると共に、他に代用品無き爲め一定分量は輸入せられ、又四、五年前の如く支那内地紡績品の競争を受けたる頃は痛切に打撃を蒙つたに相違なきも、現在に於ては前述の如く既に限定せられたる特殊品のみ輸入せらるゝを以て、假令爲替不利とは云へ其數量にさしたる差異も無かるべく、目下輸入せらるゝ本邦品は殆んど無競争品のみなれば、爲替關係に依り多少の減少は免れ得ずとも支那の必需量のみは輸入せらるゝ譯である。加ふるに目下本邦内地相場は原棉安、爲替高の影響に異常なる安値とて、賣行値段に於ても尙相當の餘裕ありと觀るべきである。

麥粉 爲替暴騰の爲め外粉の引合皆無となり、當地は在荷減少一方にて日々昂騰しつゝあるが、各方面よりの入荷僅少の折柄今少し在荷減少し、爲替安定すれば必ず實需増加すると共に相場急騰する見込である。麥粉は支那人の必需

品であり、而も支那小麥の製品のみにては到底國內の需要を充たし得ざる關係上、將來爲替昂騰が繼續すれば支那工場にて原料小麥を米國より輸入して製粉するか、本邦品が之に對抗する相場を以て入るか問題であるが、支那は本邦に麩を輸出する必要あるに加へ、本邦工場の大規模なるより本邦品が優勢ならんと觀られて居る。

天津粉	綠牌	三・七〇元	上海粉	綠兵船	三・六元
	紅牌	三・五五		紅兵船	三・二〇
日本粉	竹印	三・四八	加奈陀粉	皇后	三・一五
	雪印	三・三三		黄牛	三・三〇
	寶石	三・四三		手車	三・三三
太古 R		九・三兩	怡和紅豆		八・三兩
" 菱 H X		八・六	明治 Y P		八・二〇
〇 H M		八・六〇	" Y R O		七・七〇
" キャンデー		一三・五五	〇 濾水 E T		七・六〇
〇 日糖 菱 N		八・〇〇	" E O		八・二〇
壺 樽 T X		八・二〇			

【註】〇印は同格品である。

燐寸 當地燐寸製造會社は原料硫酸加里、硫化磷、レツテル用紙、軸木等を總て金貨國より輸入する關係上、銀價

暴落は原料騰貴を來して甚大なる打撃を受くるに至つた。而も昨年十一月以來黃磷を禁じて硫化磷を使用することとなりたる結果、其の使用法を知る者少き支那人工場は殆んど休業同様の状態に陥り、其結果は邦人工場製品に對する需要激増し、加ふるに各地共戦事の爲め品枯れの折柄として注文多額に上つたが、之等注文は原價一箱（千二百打）に付二十五弗乃至二十六弗の豫算にて契約したる由にて、今次銀價暴落に依り市價三十五弗を唱ふる今日、契約品に依る損害も亦僅少なからざる模様である。

皮革原料

日米製品の輸入困難となりて當地製品は競争上有利となつたが、原料及び副原料たるワットルバーカ、ケブラチヨキス、ミラボラレ、鹽化バリウム、クロム明礬等の如き總て本邦より輸入する爲め、原料割高となつて製品價格を四、五%方釣上げるに至り、靴底皮一封度六十七仙より六十九仙、統皮九十五仙より九十七仙に昂騰した。而して爲替が従前に比し二割五分乃至三割高に拘らず皮革製品が僅かに四、五分高なるは、諸物價が爲替の急騰に直ちに騰貴せざると、本品の需要者が主として支那人なる關係上急に値上を斷行し難き爲めである。

棉花

銀價暴落に伴ひ當然相場は下押すべかりしに拘らず反對に漸騰歩調を辿りたるは、邦商が九月末の旗埋めの爲め買進みたるを、本邦に於ける九月買付が比較的僅少なりし爲め天津相場に伴れて買氣を喚起した結果である。而して棉相場に對する強弱材料を探究するに、強材料としては

- 一、結氷期の接近
- 二、從來奥地への現銀輸送一萬弗に付平均二弗見當なりしが、昨今五十弗を要すること
- 三、價格一萬弗の棉花に對し約百四十弗の特別税を徴せらるること
- 四、原産地よりの鐵道運輸が殆んど絶望なること等

又弱材料としては

- 一、印棉、米棉安に依り大阪市場に於ける天津棉は非常なる割高を示す關係上、自然内地よりの買氣減退すること
- 二、河筋よりの入荷頗る潤澤にして昨今一日平均三千俵に達し、十月二十一日在荷高は約四萬俵と云ふ潤澤なる處へ支那棉業者の金融逼迫せる今日、若し現在の爲替が續けば必ず棉價下押すべきこと
- 三、新棉の約定一俵も無かりしを以て、入荷は現物として賣らざるべからざること
- 四、作柄が八月中旬迄の豫想より約二割増加したること等である。

雜穀類

銀價暴落に依り當地雜穀輸入品は新規商談皆無となつたが、輸出品は之に反し一般に好氣配を以て迎へられ從來運輸不圓滑に依り當地迄出廻るに多大の經費を要したる爲め採算出來ず、商談皆無なりしものも弗々内地との引合を見るに至つたが、目下の處内地相場先走りなる爲め當用買あるに過ぎない。但し最近一日約三百噸内外の出廻りあれば、爲替安定せば取引増加して一層の好影響あるべしと觀測せらる。

天津粟

本年奥地は三、四割の豊作に加へ出廻頗る順調にして、十月中旬より下旬に亘り一日平均約六、七百俵の入荷あり、本年北山方面は動亂の影響を受けたる上、十月初東山物良品九元五十仙見當に暴落したる爲め、格落の北山物は殆んど出廻り無く、北京及び産地附近に消費せられ、當地への入荷は殆んど總て東山物である。而して銀價暴落に依り爲替が輸出に有利なる爲め本邦、大連、上海向輸出旺盛であるが相場一向上伸びず、阪神沖値十四、五圓處を上下し昨年又は一昨年の沖値に比し頗る割安を示して居る。但し内地小賣商は爲替の如何に拘らず昨年同様の相場にて賣出し居る結果、爲替有利なるを以て直ちに内地の需要激増すべしと速断し難く、本年對日輸出高は昨年比し約二、三割増加の見込である。目下當地相場は東山上物九元八十五仙乃至十元なれば、阪神沖値は精選三割減と見て、之に運費及び

諸掛を加算せば拾五圓にて壹圓五、六拾錢の利益を得、内地輸入問屋は之に拾六圓の輸入税持込費を加へて原價參拾參圓五拾錢見當となるべく、從て小賣商は問屋の口錢を加算するも尙多額の利益ある譯であるが、一昨年以來何れも莫大なる損失を蒙り居る爲め、本年は其回收の爲めさしたる値下は行はざる模様である。

鶏卵

銀價暴落にて本邦内地買氣旺盛にして、その輸入高も十月は九月に比し左の如く激増して居る。

仕向地	十月中	九月中
神戶	三、二〇〇箱	三、七〇〇箱
横濱	一、九六〇	一、四六〇
大阪	一八、二〇〇	八、五五五
門司	一、七〇〇	一、三〇〇
計	二一、〇六〇	二一、〇一五

羊毛

金高にて爲替有利の爲め商談旺盛にして在荷全部一掃されたる感ありしが、其後出廻り僅少に依り次第に品薄となり、從つて市況強調、相場上向氣配である。

	十月下旬	九月下旬
西路毛	五〇、〇〇兩	三六、〇〇兩
西寧毛	四三、〇〇	四一、〇〇

第五 漢口市場に及ぼす影響

一、一般貿易に及ぼす影響

最近の銀價暴落が直接武漢地方の産業界に及ぼせる影響としては、何等特筆に値するものを認め難いが、貿易界に於ては時局の影響と相俟つて可成莫大なるものあり、從て之が各地産業界に多少とも間接的影響を與へて居ることは争はれない所である。

對日爲替が八月初旬銀行電信賣六六・七兩、三十日拂六四、五兩處より爾來連日昂騰歩調を辿り、最近遂に銀行電信賣八十一、二兩、三十日拂七九乃至八〇兩に暴騰し、之が爲め漢口輸入貿易は逐日不利の状態に置かれ、一方八月下旬來の動亂影響と相俟つて著しき打撃を蒙つて居る。他方輸出貿易は爲替關係益々有利なる爲め、自然活況を呈すべき筈なるに拘らず、時局の影響にて各品共出廻薄に加へ、爲替高及び本邦内地相場先走り下押しの爲め之亦不振を續けて居る之を要するに銀價の暴落、圓爲替の暴騰は漢口對日貿易殊に輸入貿易に甚大なる影響を與へて居るが、之が原因は爲替關係より寧ろ時局混亂に起因すること多く、從て時局安定するに至らば自然現在の不況は好轉すべきのみならず、既に秋季需要期に入りて尙久しく物資の缺乏、貿易の滯滞を告げ居ることゝて、之が反動現象として市況一段の活氣を呈すべきは殆んど疑の存せざる所であるが、目下の狀況にては何時時局の安定を見るやも豫測し難きは甚だ遺憾とする所である。

二、重要貿易品に及ぼす影響

綿糸

本邦綿糸は綿布同様相場漸落し、八月十五日現物三二船美人二三〇兩、三二の三合双鹿二七五兩、四二の二

合鶴鹿二九〇兩見當なりしものが、最近相場立たざるも先づ各種品共七、八兩方下押しにて商談閑散を極め、輸入頗る不振にして輸入高も左の如く昨年より激減して居る。(單位俵)

番手	本年	自一月一日至十月十日	昨年	本年	自九月十三日至十月十日	昨年
二〇	三六六		二、四八二	三	三六〇	
三二	四、六六		九、九七三	三	一、四四八	
四二	二、四七七		二、七二五	三	五、四九	
計	七、二六五		二〇、一七五	三	六	

尙上海綿糸も相場の漸落は免れず、八月十五日二〇水月一五六兩より最近一四九兩と落込んだが、移入量は本邦綿糸の如く爲替の影響なき爲め、時局混乱にも拘らず、左の如き比較的好成績を示して居る。(單位俵)

番手	本年	自一月一日至十月十日	昨年	本年	自九月十三日至十月十日	昨年
一六	二五、一八七		三三、四三三	七〇	五三〇	
二〇	三三、七〇〇		三三、一〇一	三〇	六五五	
三二	二二、四一九		一、三三三	三	九	
四二	二二、〇一一		二、一三三	三	九	
計	一〇、三三三		一、四三七	一、三三三	一、三三三	

綿布

本邦綿布は爲替連騰したるに拘らず、内地相場の續落に追隨して相場は左の如く下押しして居る。

細綾……顔	八月十五日	十月十一日	銘柄	八月十五日	十月十一日
世樂鳥	七・一〇	六・八五	竹虎	四・七五兩	四・五〇兩
陽鶴	六・六〇	六・四〇	旭	六・六五	六・四〇
探桑圖	四・〇五	三・八五	七星圖	四・〇五	三・八五
五福集祥	五・〇〇	五・一〇	三友圖	五・九〇	五・七五
東方朔	五・二五	五・〇〇			

尙最近本邦綿布の輸入高を昨年と比較すれば、左の如く激減を示して居る。(單位俵)

銘柄	本年	自一月一日至十月十日	昨年	本年	自九月十三日至十月十日	昨年
粗綾	三三〇		七〇八	三	一三六	
細綾	一、三六〇		一、〇六〇	三	五五	
天竺	八、〇〇三		五、五一九	三	五四一	
粗布	八二		四一	三	二	
晒金	九〇		三〇	三	四〇	
其他	六、五九〇		六、〇三九	三	三三三	
計	二二、二一一		二五、一九〇	三	六、七二四	

計 五、四九元 六、八七五 二、四七〇 九、八八一

砂糖 外糖高と爲替高に相場連日騰貴し、最近二ヶ月間に各品共左の如く約一兩方昂騰したが、爲替高に加へて時局混亂の爲め九月以來新規商談殆ど杜絶の状態である。(擔建)

品名	八月十五日	十月十五日
大日本精糖N	七二〇兩	八五〇兩
太古精糖HX	七五〇	八五〇
怡和精糖RS	七五〇	八五〇
爪哇双目粗	五七〇	六六〇
爪哇双目粗	五七〇	六六〇
マニラ青糖	四〇五	五二〇
福建赤糖	六八〇	七七〇
冰糖	九二〇	一〇五〇

雜貨 本邦雜貨は一般に相場昂騰したが、尙爲替高及び時局不安の爲め市況不振を極めて居る。

品名	八月十五日相場	十月十五日相場
鏡 三朝印五寸	一打に付 一、四〇兩	一、四〇兩
化粧石鹼 三砲壺印大號	一箱に付 〇・七二	〇・七二
洗面器 無地三四種	一箱に付 三・五〇	三・五〇
タオル 鐵印二號	一打に付 一・〇五	一・一〇

第六 哈爾濱市場に及ぼす影響

銀價暴落の哈爾濱市場に及ぼせる影響中最も著しきものは哈爾濱大洋の崩落にして、時々刻々暴落を續け、遂に七拾五圓臺を示すに至つた爲め、遂に東省特別區行政長官は寄付相場七拾六圓九拾錢以下にては金票との交換を禁止する旨聲明すると共に、巡警をして支那錢鋪門前に立ちて取引を看視せしむる等の不祥事を惹起するに至つた。今大正九年以來の各月最低相場を示せば次の如くである。

大正九年	八月	九月	十月
洋傘 二尺八寸冲西柄	一五・七圓	一六・八圓	一七・三圓
縫針 享達利印%4	八四・〇〇	八二・五〇	九一・〇〇
	一一・三三	一一・〇〇	一〇七・一〇
	九七・〇〇	九四・七五	一〇二・五〇
	一一九・四〇	一〇〇・五六	一〇七・八〇
	一三三・〇〇	一一九・六〇	一一二・六〇
	九三・六〇	八五・一〇	七五・〇〇

【備考】 本年十月分は十九日の相場を示す。

右の如く本年十月十九日は過去七ケ年中の最低相場を示せるが、かゝる大洋暴落の原因は勿論銀塊安に引摺られたるに因るものにして、之が影響は輸出入貿易は勿論凡ゆる生産工業方面にも及ぼして居る。就中輸入貿易は何れも手控へ、思惑買進更に無く、殊に北滿輸入本邦品の大宗をなす綿糸布の如きは手合極めて少く、實需小口取引を見るのみにして相場も左の如く下押して居る。

銘柄	單位	九月一日	十月十五日
龍 C	俵	一八四・〇〇圓	一五五・〇〇圓
軍鳥	"	一八五・〇〇	一八五・〇〇
軍人	反	二・三〇	九・四〇
双童	"	七・五	六・八

従つて手合せも例年九月には二千俵内外に上るを常とするに拘らず、本年九月には九百俵の手合を見たるに過ぎず、更に十月に入りては漸く十、十一月物の受渡が一割見當濟みしのみにして、尙約定物受渡に就ては一段の不安を齎すゝある外、新規取引殆ど皆無にして目下現在のストック三千三百俵(内邦商手持一千百俵、支那商手持二千二百俵)の消化難に遭遇して居る。綿糸布以外の輸入品も爲替關係上、奥地よりの注文なき上、一般住民も物價昂騰に總て買控へ居るを以て商内極めて軟弱、市場閑散にして、殊に支那商は頗る不利の地位に置かれて居る。尙邦商中支那輸入筋の破約續出の爲めに頗る困難なる立場に陥りたるもの多く、殊に奉票の暴落に依る南滿市場沈滞の餘波を入れて一層市況を不活潑ならしめて居る。尙此外東支従業員の給與が大洋なる等の關係上、露人の購買力をして著しく減退せしめ、之が爲め露人相手の商人は甚大なる打撃を受けつゝある模様である。尙生産工業界も一般の購買力減退、東支鐵道會社の諸事業手控へ等の爲め目下半休の状態である。

524
548

大正十五年十一月廿五日印刷
大正十五年十一月廿七日發行
發行所 大阪市役所産業部調査課
電話南橋五〇五〇番
印刷所 大阪市北區玉江町一丁目十一番地
大石堂活版部
電話土佐堀二二九五番
四三六七番

524
548

終